

# 第2回地区版タイムライン検討会を開催しました

H29.9.25

～地域に応じた「逃げる方法」を考えよう～

～紀南河川国道事務所～

熊野川減災協議会では、協議会取組方針の一つである「自主防災意識の向上」に向けて、「地区版タイムライン」の作成を進めています。

熊野川支川相野谷川(おのだにがわ)周辺の紀宝町鮎田(ふなだ)地区の関係住民が集まり、第2回地区版タイムライン検討会を開催しました。検討会では、ワークショップ形式で事前防災行動について地区として何を優先すべきかについて議論がされました。

今後、危険箇所等現地の確認を経て年内のタイムライン完成を目指します。

■日時:平成29年9月25日(月)18:30～20:00

■場所:鮎田構造改善センター

■参加者:紀宝町鮎田地区住民等(15名) 主催:鮎田地区  
〈自主防災会、自治会、消防団、民生委員、児童福祉施設〉  
紀宝町、紀南河川国道事務所



ワークショップの開催状況

## 抽出された課題や 参加者からの主な意見

- ・発災時、役場は限られた人数で対応しており、役場の支援に頼るべきではない。
- ・地区内の要配慮者について、介護レベルの度合いも含めてしっかりとした名簿を整える事を早急に進める必要がある。
- ・介護レベルの高い住民は避難時の車も介護に対応したものが必要。
- ・バリアフリー化された施設でなければ避難出来ない。
- ・普段から防災意識を持つべきだ。避難先・経路の高さは知っておくのは当然の事である。



参加者からの意見



【問合せ】国土交通省近畿地方整備局 紀南河川国道事務所 調査課  
〒646-0003 和歌山県田辺市中万呂142 TEL 0739-22-4564(代表)

水防災意識社会  
再構築ビジョン

